

第33回関西けん玉道選手権大会 実施要項

- 日時 2019年12月8日（日）開場9時30分、受付9時45分～10時15分 開会10時15分
- 場所 此花区民一休ホール 大阪市此花区四貫島1-1-18
会場への直接の問い合わせはご遠慮下さい。
- アクセス 最寄駅 阪神電車・阪神なんば線 千鳥橋駅下車徒歩2分
駐車設備はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 主催 日本けん玉協会 関西ブロック
- 参加費 幼児・小学 800円 中学・高校 1,000円 大学・一般 1,500円
(都合により参加費を変更させていただきました。)

●競技部門

(1) 個人の部①10級～5級の部 ②4級～準初段の部 ③初段～4段の部 ④5段以上の部
※級の部については、下の出場資格もご確認ください。

(2) 団体の部

●大会選抜

(1) 個人の部

級の部

①10級～5級の部	②4級～準初段の部
1、(手のせ大皿～)大皿ジャンプ	1、飛行機
2、大皿	2、県一周
3、小皿	3、日本一周
4、中皿	4、ヨーロッパ一周
5、ろうそく	5、世界一周
6、(ろうそく～)ろうそくジャンプ	6、灯台
7、とめけん	7、ふりけん
8、(とめけん～)竹とんぼ	8、手のせけん先すべり
9、ひこうき	9、空中ブランコ
10、手のせ大皿～けん	10、手のせうぐいす～けん

段の部

③初段～4段の部	
予選	決勝
1、うぐいす	1、宇宙一周
2、うらふりけん	2、一回転灯台
3、つるしとめけん	3、一回転飛行機
4、さか落とし	4、ふりけん～はねけん
5、地球まわし	5、灯台～けん
6、宇宙一周	6、つるしとめけん～地球まわし
7、一回転灯台	7、前ふりうぐいす～回転けん
8、一回転飛行機	8、小皿金魚すくい
9、ふりけん～はねけん	9、つるし灯台～さか落とし
10、灯台～けん	10、飛行機～はやて中皿～玉つきさし

【タイム競技 M2015】

とめけん → ヨーロッパー一周 → 地球まわし → うぐいす～けん → はねけん
→ 一回転飛行機 → さか落とし

④5段以上の部

- 1、二回転飛行機～一回転灯立
- 2、二回転灯台～一回転さか落とし
- 3、円月殺法～一回転灯台
- 4、ふりけん～フリップ地球まわし
- 5、宇宙遊泳一回転とめけん
- 6、月面着陸とんぼ返り
- 7、中皿金魚すくい～けん
- 8、極意渡り
- 9、稻妻落とし
- 10、回転すくいけん

【タイム競技全日本 2015】

ろうそく返し→前ふりうぐいす～回転けん→ヨーロッパー一周～地球まわし
→円月殺法→宇宙遊泳→つるし一回転灯台～さか落とし

(2) 団体の部

	団体の部 選択
1	大皿送り
2	ろうそく送り
3	世界はひとつ
4	野球けん1・2・3(いち・に・さん)
5	一発ホームラン

1、大皿送り（3人協力技）

- 1 ②が玉を引き上げ、①の大皿に乗せる。
- 2 ①の大皿に乗っている玉を、②の大皿に乗せる。
- 3 ②の大皿に乗っている玉を、③の大皿に乗せる。

2、ろうそく送り（3人協力技）

技がろうそくに変わる。大皿送りと玉を送る順番は同じ。

3、世界はひとつ（3人協力技）

- 1 ②が玉を引き上げ、①の小皿に乗せる。
- 2 ①の小皿に乗っている玉を、③の大皿に乗せる。
- 3 ③の大皿に乗っている玉を、②の中皿に乗せる。
- 4 ②が自分の中皿に乗っている玉を、自分のけんにさす。

4、野球けん1・2・3(いち・に・さん)（個人技）

大皿をしたあと、中皿のふちあたりに玉を当て、玉を一回下に落とした後、各皿にのせる。

①、②、③が野球けんのヒット（大皿→大皿）とツーベース（大皿→中皿）とスリーベース（大皿→小皿）を分担して、試技する。だれがどの技をしてもよいが、必ずチームでひとつずつ分担する。全員成功させた時のみ「成功」とする。

5、一発ホームラン（個人技）

①、②、③が野球けんホームランを試技する。1人でも成功した場合「成功」とする。1人成功、2人成功、3人成功に差はなく、どれも「成功」とする。

【団体戦タイム競技】

1本のけん玉を使用し、とめけん→ひこうき→世界一周の順で成功させる。順番は①→②→③の順番で行う。始める前に並ぶ順番を入れ替わっても良い。

●競技方法

(1) 個人の部

《予選》

- ・4部門（①～④）とも1選技3回ずつの得点制（30点満点）にて予選を行う。
- ・同点の時は、各技の1回目の成功回数の多い方が上位とする。
なおも同点の時は、2回目の成功回数の多い方が上位とする。
すべて同点の時は、
①と②の部は、1～10の選技を順に1回ずつ行うサドンデス方式で順位を決める。
サドンデス方式は一巡を限度とし、それでも決着がつかなかった場合は、タイム競技で決着をつける。タイム競技の種目は審判団よりその時に示される。
③の部は「タイム競技 M2015」、④の部は「タイム競技全日本 2015」で決着をつける。
- ・各部の予選上位8名が、【決勝トーナメント】へ進出する。ただし、各部の出場者が30名以上の場合には上位16名とする。

《決勝トーナメント》

- ・予選通過者による決勝トーナメント戦。
- ・対戦の組み合わせは、予選通過者全員による抽選で決定する。
- ・選技はくじにて行う。ただし、①の部は5～10番の6種目とする。また、③の部は予選と技が変わる（選技表を確認のこと）。
- ・試合の試技は4選技（決勝戦のみ6選技）を限度とする。
- ・2本先取（決勝は3本）勝ちとする。
- ・勝敗が決まらない場合は、4選技（決勝戦のみ6選技）終了した時点で得点の多い選手の勝ちとする。
- ・4選技（決勝戦のみ6選技）終了した時点で同点の場合、
①と②の部は、1～10の選技を順に1回ずつ行うサドンデス方式。
一巡を限度とし、それでも決着がつかなかった場合は、タイム競技で決着をつける。
タイム競技の種目は審判団よりその時に示される。
③の部は「タイム競技 M2015」、④の部は「タイム競技全日本 2015」
- ・主審の「はじめ」の合図から15秒以内で技を開始し、40秒以内に終了させること。タイムオーバーは失敗とする。

(2) 団体の部

- ・3人で構成されたチーム対抗の「2本勝負」トーナメント戦。
※チームを構成するメンバーは、参加者全員の抽選で決定する。
※同じクラスの偏りをなくすため、クラス別に並び変えた後、抽選のくじ引きをする。
- ・対戦の組み合わせは、チームの代表者による抽選で決定する。

○共通の条件

- ・3人は横一列に並び、審判や相手チームに技が見えるように試技しなければならない。
- ・審判に近い方から、選手の番号を①、②、③とする。
- ・試技中は、動いて①、②、③の並びを変えてはならない。
- ・技ごとに①、②、③は入れ替わってもよい。ただし、1回目から2回目の試技では入れ替わってはならない。

《2本勝負》

- ・先攻、後攻は対戦チームによるジャンケンで決定する。
- ・選技はくじにて行う。
- ・試技はチームごとに交互に行い、一方のチームが成功し、他方のチームが失敗した場合、成功したチームの1本（勝ち）とする。
- ・1選技は2回制とし、両チーム2回ずつ試技しても勝敗が決まらない場合は、その種目は引き分けとする。
- ・2選技終了時点で、取った本数の多いチームの勝ちとし、同点の場合は、団体戦タイム競技で勝敗を決める。
- ・主審の「はじめ」の合図から15秒以内に試技を開始し、40秒以内に終了させること。
タイムオーバーは失敗とする

《団体戦タイム競技》

- ・1本のけん玉をバトン代わりに、1~3の3つの技を順に3人でリレーして、早く終了させたチームの勝ちとする。
- ・誰が何番目の技をするかはチーム内で決めるものとする。

●使用けん玉

- ・日本けん玉協会公認16型けん玉を使用すること。
- ・玉は、協会指定の塗装がしてあるものに限る。
- ・けん玉の損傷が著しいものや故意に着色したものは使用できない。
- ・当日の検査に合格したけん玉のみ使用を認める。

●表彰

- ・個人の部の各部門とも、優勝、準優勝、第3位には賞状とメダルが、ベスト8には賞状（優秀賞）が贈られる。
- ・団体の部の優勝チームには、各人に賞状とメダルが贈られる。準優勝、第3位には各人にメダルが贈られる。

●出場資格

- ・級の部については、過去のI 関西けん玉道選手権大会、II 関西けん玉道スプリングカップ、III 全日本少年少女けん玉道選手権大会関西ブロック予選会において、I IIについては準優勝以上、IIIについては第三位（ベスト4）以上の入賞者は出場できない。ただし、段の部への出場を妨げるものではない（段の部には出場可能）。
- ・級、段位の不正申告をした場合は、出場を取り消すものとする。

●その他

- ・筆記用具を持参すること。
- ・参加者のけがについて、関西ブロックとしては一切責任を負わないものとする。

●参加申し込み

- ・当日申し込みのみ。
- ・参加者は申込用紙に必要事項を記入し持参すること。

・参加費は、当日、受付時に徴収致します。

●問い合わせ、連絡先

日本けん玉協会関西ブロック 事務局

090-9984-1309 (中田) 080-1446-1668 (工藤)